

=====

●○● INDEX ●○●

【頼り合える社会づくり通信】no.2 (2019/2/7)

- ◆講演会 「頼り合える社会」をめざして
- ◆5年に1度の大仕事！「認定NPO法人の更新対策」セミナー
- ◆NPO法20周年記念プロジェクト テーマ別学習会
「NPO法人と議員・公務員～実践事例から考える可能性と課題」
- ◆多文化交流会～カンボジアの皆さんとお話や郷土料理の試食～
- ◆フォーラム 認知症カフェももっともっと IV わたしのための居場所づくり
- ◆フードドライブ1 フードドライブ2
- ◆フォーラム 認知症カフェももっともっと IV わたしのための居場所づくり
- ◆大人のための交流サロン『こもればカフェ』
- ◆「参加型福祉」はどこへ向かうのか
- ◆「家族シミュレーション」事業報告会～子育てと仕事両立体験研修～
- ◆21世紀かながわ円卓会議シンポジウム
- ◆障害福祉と文化芸術の関わりを考える勉強会 “そこにいること”へのまなざし』
- ◆神奈川ゆめ社会福祉財団 「なんとかしよう！子どもの貧困」
- ◆#当事者たちの声をきく～出会っちゃった2019～
- ◆女性への暴力被害者支援 みずらチャリティバザー～バザー用品も募集中～
- ◆祝・フリースペースえん 15周年
- ◆第8回死刑映画週間 スマホを捨てて、映画館へ行こう！
- ◆アドボカシーカフェ第58回 虐待の連鎖からの離脱～幼少期の逆境体験をうけとめ～
- ◆第8回集会 子どもたちの明日を守るために！ 私から あなたから 川崎から 原発ゼロの声を！

【さまざまな催し】

- ・コミュニティビジネス・シンポジウム in ちば
- ・参加のデザイン道具箱 はじめてのワークショップ基礎編
- ・かながわボランティアフェスタ2019 ボランティアは社会を変える
- ・2/16(土)非営利組織のための「グッドガバナンス認証」制度説明会
- ・協働・共創スキルアップ道場 ～共に未来をつくるために～
- ・よこはまNPO労務塾
- ・NPO法人ブラッシュアップセミナー NPOと企業との協業に向けた準備のススメ

- ・平成 30 年度 セルフヘルプ実践セミナー
- ・マネジメントの基礎を学ぶ！『女性管理職』育成セミナー
- ・全国ボランティアコーディネーター研究集会 2019
- ・日本フィランソロピー協会 CSR・社会貢献活動を「伝えるコツ」
- ・ST スポット
- ・パルシック スタディーツアー
- ・21 世紀かながわ円卓会議
- ・第 17 回聞き書き甲子園
- ・PINK SHIRT DAY 2019 in Kanagawa
- ・大竹財団 映画『沖縄スパイ戦史』上映会
- ・非核市民宣言運動・ヨコスカ/ヨコスカ平和船団
- ・みずら
- ・外国籍県民の住まいに関する研修会

【募集】

- ・わかば基金
- ・全日本社会貢献団体機構 特別助成・外国とつながりがあり保育士を目指す若者のための奨学金（しょうがくきん）
- ・とびラー募集 東京都美術館×東京藝術大学
- ・パブリックリソース財団 「あい基金」
- ・神奈川ゆめ社会福祉財団 奨学生募集

=====

◎アリスセンターはこれまでの「らびっとにゅうず」に特集のページを加え、テーマと地域により密着し、共有と交流、発信的なスタイルを持った「頼り合える社会づくり通信」を発行します。ご愛読をお願いします。

=====

【頼り合える社会づくり通信】no.2（2019/2/7 ）

=====

◎「かながわ生活困窮者自立支援ネットワーク」研修会・ネットワーク会議 in 横浜

の報告

「『かながわ生活困窮者自立支援ネットワーク』研修会・ネットワーク会議 in 横浜 まちで子どもと共に“生きる”ということ～多様な背景を持つ子どもたちの暮らし～」が、1月21日（月）に行われた。（らびっとにゅうずの前号（VOL.263）の【頼り合える社会づくり通信】no.1に掲載）会議には70名近い参加者が集まり、困窮世帯や多様な背景をもつ子どもたちを地域の中で支えることの重要性や、子どもたちへの寄り添い方などが話し合われた。会議は、生活困窮者支援や様々な課題を抱える人たちへの支援を行う団体が集まって設立した「かながわ生活困窮者自立支援ネットワーク」（かなこんネット）と神奈川県との共催事業で、参加者はNPO等民間と行政関係者が半々で官民が一堂に会して意見交換が行われた。

※詳細報告は、かなこんネットFBに掲載されています。

<https://www.facebook.com/kanacon/>

生活困窮は経済的困窮にとどまらない。社会的孤立や排除、障害や疾患、虐待やDVなど様々な背景を抱えていることが少なくない。「子どもの貧困」が注目されているが、子どもが1人で貧困に陥るわけではない。そこには世帯が抱える様々な課題が存在する。こうした複合的課題を抱えてしまった「生活困窮者」の増加に対する支援は、1つの行政機関や1つのNPOだけで対応することは難しい。複数の行政の部署や機関、NPO等が連携して包括的な支援を行うことが求められている。

「かながわ生活困窮者自立支援ネットワーク」は、官民連携の包括的支援をめざして、かなこんネットと神奈川県（福祉子どもみらい局福祉部生活援護課）の協働事業として、今回のような研修・ネットワーク会議や、かながわ生活応援サイト（<http://kana-con.net/>）を実施している。（かながわボランティア活動推進基金21協働事業負担金対象事業）

生活困窮者に対する官民連携の包括的支援は急務であることは確かだが、格差や分断がなかなか是正されない社会にあって、「生活困窮者支援」の枠組みだけで根本的な解決を図ることは難しい。

「頼り合える社会づくり」を実践する団体・機関のそれぞれの分野での実践が、社会そのものを軌道修正する力へとつながっていくように、そんな思いを込めて「頼り合える社会づくり通信」を続けたい。（アリスセンター理事 川崎あや）

○情報は、このテーマに取り組んでいる神奈川県内や全国規模で活動して団体や活動をリスタップして定期的に情報収集や取材を行い情報発信していきます。

○リストアップの3つの視点

1 分断線の現状を明らかにする情報※1

2 地域での関係やつながりを創造（再生）する活動※2、

3 市場経済の原理だけで形成されない新しい働き方

※1 分断線

1) 貧困・所得格差間 2) 受給者間（教育・福祉・介護・保育等） 3) 世代間（若者と高齢者） 4) 地域間（都会と地方） 5) 雇用者間（正規・非正規） 6) 男女（性差） 7) 入居者間（公営住宅） 8) 国籍（国民・移民・外国籍） 9) 政治意識間（政治的急進主義と穏健寛容派） 10) 市民意識間（他者への無関心と他者への関心、信頼と不信感）

※2 地域での関係やつながりを創造（再生）する活動

1) 地域全般・制度全般、2) まちづくり（弱者の視点からの防災・見守り合い・協働の活動、協議会型住民自治組織、元気な参加型地域づくり・シェアリングエコノミー） 3) 居場所づくりの活動（子ども食堂、無料学習塾、プレイパーク、コミュニティカフェ、フードバンク） 4) 高齢者福祉・介護の活動 5) 障がい者福祉（発達障がいや子育て等の孤立化防止活動、パラスポーツ等） 6) 多世代参加型子育ての活動 7) 外国籍市民との共生の活動 8) アート活動（障害者・地域等との協働等） 9) 子ども・若者・女性の支援 10) 様々なネットワークの活動 11) 市民基金の活動 12) 人権・平和の活動 13) 住宅支援の活動 14) 環境・エネルギーの活動 15) マイノリティ支援の活動（LGBT等）

「頼り合える社会づくり通信」

地域での関係やつながりを創造（再生）する活動

(1) 地域全般・制度全般

◆講演会 「頼り合える社会」をめざして

日時 2019年2月13日（水）18：30 会場 19：00 講演開始～21：00 終了

講演者 井手英策（慶応義塾大学教授）

場所 茅ヶ崎市勤労市民会館 6階A研修室（茅ヶ崎市新栄町13-22）

資料代 500円

主催 Twinkle（市民活動団体）

問合せ先 080-5536-8096（早川）

◆5年に1度の大仕事！「認定NPO法人の更新対策」セミナー

■日時：2019年2月5日（火）19:00-21:00 ※18時45分開場

■場所：東京ボランティア・市民活動センター 会議室B

(東京都新宿区神楽河岸 1-1 セントラルプラザ 10 階)

■講師：シーズ 代表理事 関口宏聡 / 事務局長 大庭勇

■ゲストスピーカー：

花岡隆夫氏 (認定 NPO 法人健康と病いの語りディペックス・ジャパン事務局次長)

■内容：

初回認定と更新の違い / 認定基準のポイント / PST は満たせる？

更新手続きの申請・審査スケジュール / 現地確認の流れとポイント

■対象：【こんな方にオススメです！】

- ・認定取得時のスタッフがいない認定 NPO 法人
- ・認定の基礎から更新のポイントまで押さえない認定 NPO 法人
- ・認定の更新期限が迫っている認定 NPO 法人

■定員：20 名 (要事前申し込み)

■参加費：2000 円/人 (認定 NPO 法人振興会会員：1000 円/人)

■お申込み：<https://business.form-mailer.jp/fms/3bdee57e70995>

◆NPO 法 20 周年記念プロジェクト テーマ別学習会

「NPO 法人と議員・公務員～実践事例から考える可能性と課題」

これからの NPO と議員・公務員のあり方を一緒に考えませんか？

政治参加やアドボカシー活動等にご関心のある方も、ぜひ、ご参加ください！

■日時：2019 年 2 月 10 日 (日) 14:00-16:00 ※13:45 開場

■会場：ちよだプラットフォームスクエア本館 4 階 402 会議室

(〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3 - 21)

■内容：

1. 三井氏・仁平氏による「実践事例」報告
2. 三井氏・仁平氏・シーズ関口によるパネルディスカッション
3. 参加者の方も交えた質疑応答・意見交換

※学習会終了後、講師のお二人も交え、近くで懇親会を予定しております。

■講師：

三井 俊介さん (NPO 法人 SET 代表理事・陸前高田市議会議員)

仁平 貴子さん (NPO 法人 6 時の公共 代表理事・千葉県庁職員)

※司会進行：関口宏聡 (シーズ 代表理事)

■参加費：1,000 円/名 / ■定員：20 名 (要事前申込)

■対象：本テーマに関心のある市民・NPO・政治・行政関係者など

■助成：中央ろうきん社会貢献基金

■お申込み：<https://business.form-mailer.jp/fms/3bdee57e70995>

(2) まちづくり（弱者の視点からの防災・見守り合い・協働の活動、協議会型住民自治組織、元気な参加型地域づくり・シェアリングエコノミー）

◆多文化交流会～カンボジアの皆さんとお話や郷土料理の試食～

■日時：2019年2月17日（日）10:00～12:00

■場所：いずみ野地域ケアプラザ（相鉄いずみ野線「いずみ野（いずみの）駅」から歩いて2分）

〒245-0016 横浜市泉区和泉町 6214-1

■内容：泉区に住むカンボジアの方のお話を聞いたり、郷土料理を試食したりすることができます。

泉区の多文化共生に興味・関心がある方は、ぜひご参加ください。

■定員：30名（先着順）

■参加費：無料

■申し込み開始日：1月11日（金）

●問い合わせ・申し込み先：

泉区役所地域振興課区民事業担当

電話、FAX、Eメール、または窓口にて直接お申し込みください。申し込みの際は、お名前と電話番号をお伝えください。

（窓口は3階309番です）

Email：iz-tabunka@city.yokohama.jp

TEL：045-800-2395 FAX：045-800-2507

（開庁時間：8:45～17:00 ※土・日・祝日・年末年始は休み）

■主催：泉区役所

■運営：多文化まちづくり工房

■ HP :

<http://www.city.yokohama.lg.jp/izumi/03shinkou/02kumin/tabunka.html#kouryukai>

■ チ ラ シ :

<http://www.city.yokohama.lg.jp/izumi/03shinkou/02kumin/pdf/tabunkakouryuukai.pdf>

(3) 居場所づくりの活動（子ども食堂、無料学習塾、プレイパーク、コミュニティカフェ、フードバンク）

◆フォーラム 認知症カフェもっともっと IV わたしのための居場所づくり

【2019年3月15日（金） 10:30～15:45】

■日時：2019年3月15日（金） 10:30～15:45 受付 10:00～

■会場：横浜情報文化センター 6階ホール（横浜市中区日本大通 11 番地）

■プログラム：

10:30～12:00

○「地域の中で役割を持つこと」

小塚 秀忠さん（世田谷地域共生のいえ 岡さんのいえ TOMO 見守り隊員）

○「大倉山ミエルから広がる地域のつながり」

鈴木 智香子さん（NPO 法人街カフェ大倉山ミエル代表）

○「桂台カフェ・NF の会と地域ケアプラザの取組み」

渡辺久江さん（桂台カフェ代表）、桂台地域ケアプラザ 職員

13:00～15:00

○「旅のことば研究会 in 横浜」

岡田 誠さん（認知症フレンドリージャパン・イニシアチブ 共同代表理事）

15:00～15:45 振り返りワークおよび市民セクターよこはま事業に関するご案内

申込方法：FAX・メール・申込フォームのいずれかより、必要事項をご記入のうえお申込ください。

申込記入事項：【1】お名前、【2】ご所属、【3】活動地域、【4】E-mail、【5】FAX、【6】電話番号、

【7】当日ボランティア可能

■申込連絡先：FAX：045-222-6502、E-mail：yamadam@shimin-sector.jp

■問合せ：認定 NPO 法人市民セクターよこはま 担当 山田 yamadam@shimin-sector.jp

■045-222-6501

■主催：認定 NPO 法人市民セクターよこはま

◆フードドライブ（市民からの食品寄付活動）

その1

□期間 2019 年 1 月 4 日から 1 月 31 日

□場所 ユーコープの 61 店舗で実施

□主催 公益社団法人フードバンクかながわ（横浜市金沢区富岡東 2-4-45）

□問合せ先 電話 045-349-5803

□詳細については https://www.fb-kanagawa.com/pdf/tsushin/tsushin_04.pdf

その2

□日時：2019 年 2 月 16 日（土）AM11:00～PM3:30 次回以降 3/16（土）、4/20（土）

□場所：神奈川地区センター 横浜市神奈川区神奈川本町 8-1

電車：JR 東神奈川駅・京急仲木戸駅より徒歩 6 分、東急反町駅より徒歩 12 分 バス：横浜市営バス 29、31、36、39、82 系統 ニッ谷町より徒歩 6 分

□主催 NPO 法人フードバンク横浜 <http://www.fbyokohama.jp/> 横浜市神奈川区栄町 16

番 1 号 304 FAX 045-512-4965 thanks@fbyokohama.jp

□協力 新子安地域ケアプラザ 神奈川区区民活動支援センター 神奈川地区センター < 連携団体> 一般社団法人 離婚準備支援協会(info@rikonjunbi.org) 株式会社 Bonheur(ボヌール) (info@la-bonheur.jp)

□詳細については、NPO 法人フードバンク横浜へ

◆大人のための交流サロン『こもればカフェ』

港南台タウンカフェでは、介護予防・生活支援サービス補助事業（サービス B）として、毎週月曜日、シニア・大人のための交流サロンを開催しています。様々なプログラムをご用意していますので、地域の中でのつながり作りや居場所としてぜひご活用ください。

□開催日 毎週月曜日 午前の部 10:00～13:00/午後の部 12:30～15:30

□場所 港南台タウンカフェ

□参加費 1プログラム 800 円～（ランチ付）

□申込み プログラムごとの事前申込みが必要です。（店頭・電話・FAX）

[1 月プログラム]

- ・ 1/7（月）午前 ピアノ演奏
- ・ 1/7（月）午後 百人一首
- ・ 1/21（月）午前 ラフターヨガ
- ・ 1/21（月）午後 牛乳パックの小物入れ
- ・ 1/28（月）午前 健康麻雀
- ・ 1/28（月）午後 健康麻雀

□問い合わせ港南台タウンカフェ TEL 045-832-3855

<https://www.facebook.com/komorebicafe.kounandai/>

（4）高齢者福祉・介護・医療・保健の活動

◆「参加型福祉」はどこへ向かうのか

■日時：2 月 22 日（金）10：00～13：00

■場所：新横浜スペースオルタ（新横浜駅徒歩 7 分）

■基調報告：生活クラブ運動グループ福祉事業実績報告

記念講演「共に生き、共に創る豊かなくらし」

講師 野津久美子氏（地域つながりセンター事務局長）

他、トークセッション

■参加費無料

■主催：参加型福祉研究センター

■問い合わせ・参加申込 045-222-8720

sanka-fukushi@systemken.org

詳細は <http://sanka-fukushi.org/pdf/machizukuriforum2019.pdf>

医療関係者のための労災職業病講座

■2018 年度：第 2 回 テーマ：日本で暮らす外国人の医療問題について

■日時：2019 年 2 月 8 日（金）19 時～20 時 30 分

■講師：沢田 貴志（港町診療所所長）

■講座の概要：

- ・外国人労働者の新たな在留資格
- ・外国人医療のお金の問題
- ・外国人医療の言葉の問題
- ・各国の支援体制と他機関との連携

■参加費：無料

■会場：港町診療所 2 階（JR 横浜駅きた東口から徒歩 5 分・横浜市神奈川区金港町 7-6）

■主催：神奈川労災職業病センター

■共催：神奈川県医療ソーシャルワーカー協会

■申し込み先 <https://koshc.org/entry>

■問合せ先 045-573-4289（神奈川労災職業病センター）

(5) 障がい者福祉（発達障がいや子育て等の孤立化防止活動、パラスポーツ等）

(6) 多世代参加型子育ての活動

◆「家族シミュレーション」事業報告会～ 子育てと仕事両立体験研修 ～

子育て未経験の方に、実際に就労継続している家庭との交流・子育て体験を実施しました。

（社会人 11 名・交流家庭 7 家庭・のべ活動回数 15 回）

研修後の就業継続への気持ちの変化、女性活躍を推進するためのカギとなるワーキングマザーを取り巻く環境づくりへのヒントなどを発表。

●日時 2019 年 2 月 21 日（木） 19:00～20:45

●会場 開港記念会館 9 号会議室（アクセス：みなとみらい線日本大通り駅下車徒歩 1 分）

●資料代 500 円

●主催 認定 NPO 法人びーの びーの（2018 年 12 月 13 日付で認定 NPO 法人として認定されました。）TEL045-877-2156/FAX045-883-7619

横浜市港北区大倉山 2-7-47 シャトレ大倉山 103

●プログラム

★はじめに 19:00～19:20

立案の経緯・経過報告・取り組みについて報告

★パネルディスカッション 19:20～20:00

「私にとっての家族シミュレーション」

・企業勤務の社会人研修参加者と受け入れ先の乳幼児子育て中のワーキング夫妻が語り合います

コーディネーター

堀 聡子先生（東京福祉大学 短期大学部 こども学科 専任講師・博士）

★講演 20:00～20:30

1. アイネットが「家族シミュレーション」に参加した理由

伊藤 美樹雄氏

（株式会社アイネット 執行役員 企画・IR 部統括部長）

2. 人材育成の観点から「家族シミュレーション」の意義 橋本 諭先生

（産業能率大学 情報マネジメント学部 准教授）

★質疑応答・意見交換 20:30～20:45

■申込み 先着順・要参加申込み 詳細は HP <http://bi-no.org/2018kazoku-sim-kokuti.html> 参照

問合せ先 NPO 法人びーのびーの企画室 畑中・山口 EMAIL: kikaku@bi-no.org

(7) 外国籍市民との共生の活動

統一地方選を前に

2.11 ヘイトスピーチを許さない集会

■2月11日（月・祝）18：30～21：00

■場所：ユニコムプラザさがみはらセミナールーム（bono 相模大野サウスモール 3F）

■講師：師岡康子さん（弁護士）

■主催：反差別相模原市民ネットワーク

■先着 100 名

■参加費：500 円

■問い合わせ：090-1458-6761

hansabetu.sagamihara@gmail.com

詳細は <http://www.sagamaru.org/wp/wp-content/uploads/2019/01/e190211.pdf>

第8回死刑映画週間 スマホを捨てて、映画館へ行こう！

■日時：2019年2月16日（土）～2月22日

■場所：渋谷ユーロスペース

■主催：死刑廃止国際条約の批准を求めるフォーラム'90

詳細は <http://forum90.net/event/archives/13>

◆21 世紀かながわ円卓会議シンポジウム

「外国人政策と多文化社会の未来～かながわで共に生きていくために」

□日時：2019 年 2 月 24 日（日）13:00～16:00

□会場：神奈川韓国会館 7 階多目的ホール

<http://www.mindan-kanagawa.com/about/access/>

横浜駅「きた西口」出口より徒歩 5 分

□内容

報告：「改定入管法施行と多文化社会の今後」 鈴木江理子氏（国士舘大学教授）

事例紹介（仮題）

・「外国人の社会参加について考える：川崎での取り組みから」

山田貴夫氏（ヘイトスピーチを許さないかわさき市民ネットワーク事務局）

・「市民がつなぐ難民とホスト社会」

渡部清花氏（NPO 法人 WELgee 代表理事）

・「多文化共生教育の視座：マジョリティへの働きかけ」

山根俊彦氏（NPO 法人多文化共生教育ネットワークかながわ[ME-net]理事）

□定員： 40 名（先着順）2019 年 2 月 15 日（金）申込み締切

□参加費： 無料

□申込み：必要事項をメールまたは FAX でお申し込みください。

【必要事項】・氏名・所属・住所（市町村名までで結構です）・電話・FAX・メールアドレス・

このシンポジウムのことをどこでお知りになりましたか？

○メール：entaku@kifjp.org

○FAX：046(858)1210

□問合わせ先

TEL：046-855-1821 かながわ国際交流財団（西山・清水）

（8）アート活動（障がい者・地域等との協働）

◆第 4 回 障害者と芸術鑑賞

□日時：2019 年 2 月 20 日(水)19 時～20 時 30 分

□会場：S T スポット 〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-15 横浜 ST ビル B1

各線「横浜」駅から徒歩 10 分。

□ゲスト：林建太(視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ 代表)

関淳一（横浜美術館）

□参加費 各回 500 円。

□対象

障害者との文化芸術活動に取り組んでいる、もしくは取り組みたいと考えている方。主に文

化施設や芸術団体に関わる方を想定していますが、ご興味をお持ちの方はどなたでもご参加いただけます。

□定員

各回 20 名（先着順、要事前申込）

□主催・問合せ先 認定 NPO 法人 S T スポット（TEL：045-325-0411FAX：045-325-0414E-MAIL：mail@stspot.jp）

□申込方法

件名を「勉強会参加」として、以下の内容をこちらのメールアドレス（community@stspot.jp）までお送りください。こちらからの返信をもってご予約完了となります。

（１）お名前（ふりがな）（２）ご所属（あれば）（３）参加ご希望の回（４）当日連絡用の電話番号

（５）メールアドレス（６）この勉強会に期待すること※短くて構いませんので、ぜひお知らせください。出来る限り内容にも反映させていきたいと思ひます。

（9）子ども・若者・女性の支援

◆神奈川ゆめ社会福祉財団 「なんとかしよう！子どもの貧困」

【日時】2019 年 2 月 15 日（金）15：00～17：30（開場 14：30）

・講演会：湯浅誠氏「なんとかしよう！子どもの貧困」

・事例発表：地域における子どもの居場所づくりについて（校内カフェの取り組み等、実践報告）

【会場】・崎陽軒本店 会議室（横浜市西区高島 2-13-12 崎陽軒本店 6 階）

【参加費】・無料

【定員】・110 名（応募者多数の場合は抽選）

<申し込み方法>下記 1～3 のいずれかの方法でお申込みください。

1. 申込みフォームでお申込み

こちらから申し込みください。

<https://kanagawa-s.or.jp/yuasamakotomousikomi/>

2. お電話でお申込み

0120-900-634（9：00～17：00 土・日休）

3. メールでお申込み

お名前、ご住所、電話番号、参加人数を明記の上、下記アドレスにお送りください。

yume@kanagawa-s.or.jp

一般財団法人神奈川ゆめ社会福祉財団

事務局長 余 泰順

住所：〒222-0033 横浜市港北区新横浜 3-18-16 新横浜交通ビル 2F

TEL : 0120-900-634 / FAX : 045-470-4178

URL : <http://kanagawa-s.or.jp>

Mail: yume@kanagawa-s.or.jp

◆ # 当事者たちの声をきく～出会っちゃった 2019～

■ 日時 : 2 月 18 日 (月) 18 : 00 ~ 20 : 00 (開場 : 17 : 30)

■ 場所 : 鶴見区社会福祉協議会 研修室 A

■ 参加費 : 500 円 (当日、受付でお支払いください)

■ 定 員 : 20 名

■ 申込 URL : 要申し込み <https://ssl.form-mailer.jp/fms/3a8b3ec0600297>

■ 登壇予定者

・ 深堀 麻菜香 / 北海道札幌市出身・在住。現在大学 2 年生。

高校生の頃より学習支援のボランティアをはじめ、あすのばのサポーターや訪問型学習支援・食事提供、

子ども食堂など地域の子どもと関わる活動をしている。その他メディア出演・講演活動など。

・ 花澤 昂乃 / 神奈川県生まれ、千葉県育ち。現在大学 3 年生。

高校 3 年生の時にあすのばに出会ったことをきっかけに、子どもと関わる活動を始める。現在はあすのば

での活動の他に神奈川県藤沢市・横浜市鶴見区で子どもの居場所づくりや学習支援に携わっている。

・ 中山 真珠 / 大阪府大阪市出身・奈良県在住。現在大学 4 年生。

大学 2 年生の冬休みに子ども食堂を運営する母に誘われて、あすのばが主催する支援者向けの研修会に参加。

子どもの貧困に関心を持ち始めると同時に、積極的に社会に働きかける学生世代に刺激を受け、現在は子ども

や女性に関わる活動をしている。公益財団法人あすのば学生理事。

■ 主 催 : 特定非営利活動法人サードプレイス (電話 080-9535-1594・横浜市鶴見区鶴見中央 4-2-9 横山ビル 4 階 9 号)

■ 協 力 : 公益財団法人あすのば

◆女性への暴力被害者支援 みずらチャリティバザー〜バザー用品も募集中〜

毎年、みずらのバザーは多くの方々にご支援をいただいております。

売上げは、女性への暴力被害者支援のため、大切にに使わせていただいています。 お買い得なものもたくさんあるので、お友だちやご近所の方をお誘い会わせて、 ぜひお立ち寄りください。

■日時：5月18日（土）10時30分から12時30分

■場所：県民センター1階展示場

■問合せ先：集荷やその他のお問い合わせは 045-451-3776へ お問い合わせください。

◆祝・フリースペースえん 15周年

たまりばフェスティバル 2018 一期一えん

□日時：2019年2月17日(水)開場13:30開演14時〜17時30分

□会場：川崎市男女共同参画センター「すくらむ21」

「東急溝の口」「JR 武蔵溝の口駅」から徒歩約10分。

□主催 認定 NPO 法人 フリースペース「たまりば」(044-833-7562)

□入場料 大人1300、ミドル（中学生から500、子ども100、協力券1300

□内容 「えん」で行っている講座や自主企画など一年間を通じて行ったきた活動発表の場。楽器演奏、創作劇、歌、ダンスなど盛りだくさん。子供たちが中心で運営・企画

□主催・問合せ先 認定 NPO 法人 フリースペース「たまりば」(044-833-7562)

(フリースペース「たまりば」は2018年12月13日付で認定 NPO 法人として認定されました。)

(10) 様々なネットワークの活動

=====

(12) 人権・平和の活動

第8回死刑映画週間 スマホを捨てて、映画館へ行こう！

■日時：2019年2月16日（土）〜2月22日

■場所：渋谷ユーロスペース

■主催：死刑廃止国際条約の批准を求めるフォーラム'90

詳細は <http://forum90.net/event/archives/13>

アドボカシーカフェ第 58 回

虐待の連鎖からの離脱～幼少期の逆境体験をうけとめ～

■日時：3 月 5 日 13:30～16:00 (開場 13:00)★昼間開催★

■会場：文京シビックセンター 5 階 会議室 C

■ゲスト：浜田進士さん [児童自立援助ホーム「奈良あらんの家」ホーム長]

坂東希さん [NPO 法人暮らしづくりネットワーク北芝理事]

■主催 認定 NPO 法人まちぽっと ソーシャル・ジャスティス基金(SJF)

〒160-0021 新宿区歌舞伎町 2-19-13 ASK ビル 5F

E-mail: info@socialjustice.jp

Tel: 03-5941-7948 FAX: 03-3200-9250

■内容：虐待により命を奪われた子どもを救うことはできなかったのか。児童相談所に認定された

数よりはるかに多い潜在的な虐待があるとされています。虐待にさらされて育った子どもたちは心

身にさまざまな影響を受けていることが明らかになってきました。虐待をしてしまう親にも子ども

だった過去があります。虐待を生んでしまう状況をみんなで克服していけたら――。心のありよう

に思いをはせながら、よりよい仕組みへの一步をゲストと一緒に考える。

■詳細については、<http://socialjustice.jp/p/20190305/>へ問合せください。

(13) 住宅支援の活動

(14) 環境・エネルギーの活動

第 8 回集会 子どもたちの明日を守るために！

私から あなたから 川崎から 原発ゼロの声を！

■2019 年 3 月 10 日 (日) 10:30～

■会場：中原平和公園

■内容：開場 10:30～飲食の出店

12:00～文化行事

13:00～本集会 (ゲストスピーチ、福島事故被災者の訴え)

14:15～デモ行進

■主催：「原発ゼロへのカウントダウン in かわさき」実行委員会

川崎市川崎区砂子 1-10-2 ソシオ砂子ビル 7F : 川崎合同法律事務所 三嶋

TEL : 044-211-0121

(15) マイノリティ支援の活動 (LGBT 等)

【さまざまな催し】

コミュニティビジネス・シンポジウム in ちば

■【日 時】2019 年 2 月 17 日 (日) 13:30~16:30 (開場 13:00)

■【場 所】幕張 BASE (千葉市美浜区若葉 3-1-21) <https://makuhari-base.jp/>

■【申し込み】定員 60 人 (事前申し込み優先)

* 事前申し込みは、チラシ裏面の参加申込書を記入し FAX するか、氏名 (漢字・フリガナ)、所属、郵便番号・住所、連絡先 (TEL・Mail) をメールでご連絡ください。

■【お申し込み・お問い合わせ先】

千葉市 経済農政局 経済部 産業支援課 経営支援班

TEL : 043-245-5292 FAX : 043-245-5590

E メール : sangyo.EAE@city.chiba.lg.jp

■【主 催】千葉市、千葉市コミュニティビジネス推進協議会

■【協 力】広域関東圏コミュニティビジネス推進協議会、経済産業省関東経済産業局、市原市、佐倉市、習志野市、八街市、四街道市

■参加費無料。千葉市外の方も参加できます。

■内容の詳細や参加申込方法は下記参照。

<https://www.city.chiba.jp/keizainosei/keizai/sangyo/documents/h30cbsymposium-chirashi.pdf> (チラシ)

<http://www.city.chiba.jp/keizainosei/keizai/sangyo/cbtop.html>

参加のデザイン道具箱 はじめてのワークショップ基礎編

■日時：2019 年 2 月 6 日 (水) 9:30~17:30

■場所：三茶しゃれなードホール オリオン

(世田谷区太子堂)

■講師：奥村玄 (株式会社 GEN プランニング代表取締役)

■抽選 35 名

■参加費 5000 円、テキスト代 3500 円

■主催：一般財団法人世田谷トラストまちづくり

詳細は http://www.setagayatm.or.jp/trust/support/toramachidai/pdf/h30_dougubako.pdf

かながわボランティアフェスタ 2019

ボランティアは社会を変える

■日時：2019年2月11日（月・祝）10：00～15：00

■場所：アースプラザ2階プラザホール（JR 京浜東北・根岸線「本郷台」駅徒歩3分）

■主催：かながわボランティア活動推進基金 21 情報交換会

■問い合わせ：090-4454-6133（実行委員 高橋）

詳細は <http://www.pref.kanagawa.jp/docs/u3x/f5258/festa2018.html>

2/16(土)非営利組織のための「グッドガバナンス認証」制度説明会

組織を支える新しい取り組み「組織評価」を学ぶ

■日時：2月16日（土）10：30～13：00

■会場：藤沢名店ビル6階Cホール（JR、小田急「藤沢」駅前）

■講師：山田泰久氏（一般財団法人非営利組織評価センター業務執行理事、NPO 法人 CANPAN センター代表理事）

■参加費無料

■主催：認定 NPO 法人藤沢市民活動推進機構/一般財団法人非営利組織評価センター

■問い合わせ・申し込み 0466-54-4510（火曜日除 9：00～22：00）

f-npoc@shonanfujisawa.com

詳細は <http://npocafe.f-npon.jp/topics/archives/2019/01/11-2017.html>



協働・共創スキルアップ道場

～共に未来をつくるために～

【1回目】

日時：2019年2月25日（月）18:00～20:30

内容：○協働・共創の意識作り

○ボードゲームを通して、協働・共創を体験する

講師：溝呂木俊介氏

【2 回目】

日時：2019 年 3 月 8 日（金）18:30～20:30

内容：○横浜市の協働・共創の歴史を紐解く

○事例紹介（2～3 事例）

（株）太陽住建

アオバ住宅社 斎藤瞳氏

※その他の方は調整中

○アイディアプラン作成トレーニング

【3 回目】

日時：2019 年 3 月 20 日（水）18:30～20:30

内容：○アイディアプラン実現に向けて、お披露目会

○演習：グループワーク・講評

会場：桜木町・みなとみらい周辺を予定しております。

※お申し込み頂いた方に、個別にお知らせします。

定員：25 名

参加費：無料

対象：協働により地域（社会）課題解決やまちの魅力づくり等に取り組みたい団体・組織

申込方法：FAX・メール・申込フォームのいずれかより、必要事項をご記入のうえお申込ください。

申込記入事項：【1】お名前、【2】ご所属、【3】TEL、【4】FAX、【5】Eメール、【6】参加動機

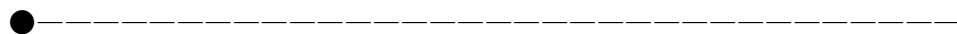
申込連絡先：FAX：045-223-2888、E-mail：daihyo@hamacen.jp

問合せ：横浜市市民局市民活動支援課

TEL：045-227-7915 FAX：045-223-2032

MAIL：sh-shiminkatsudo@city.yokohama.jp

主催：認定 NPO 法人市民セクターよこはま、横浜市市民局市民活動支援課、横浜市政策局共創推進課



NPO 法人トップマネジメントセミナー

NPO 法人を経営するために知っておきたい3つのこと

【2019.2.14（木） 13:15～17:30（受付 13:00～）】

■ 会 場 ： wework（みなとみらい線「みなとみらい駅」徒歩 2 分。申込者に詳細をご案内します。）

■ 対 象 ： NPO 法人の経営全般に関わっている方（理事・監事、事務局長等）

■ 定 員 : 18 名 (1 団体複数の参加をお勧めします)

■ 受講料 : 2,000 円

■ 申込み : 専用フォームからお申し込みください

■ 講義・演習「NPO 法人の財務諸表の読み方」

Program 1 (13:35~15:15)

＜講師＞ 宮崎 敦史 (税理士) 特定非営利活動法人税理士による公益活動サポートセンター NPO 等支援部

■ 事例「ミッション達成に向けた継続的・発展的な法人経営～事業の組立と財源確保～」

Program 2 (15:25~16:50)

＜事例発表＞ 阿部 真紀 認定 NPO 法人エンパワメントかながわ 理事長

吉原 明香 認定 NPO 法人市民セクターよこはま 理事・事務局長 横浜市市民活動支援センターセンター長

■ 講義「NPO 法人における組織ガバナンス (統治) の具体的な方法」

Program 3 (16:50~17:25)

講師: 関尾 潤 認定 NPO 法人市民セクターよこはま 横浜市市民活動支援センター副センター長

■ 主催 : 横浜市市民活動支援センター (管理運営: 認定 NPO 法人市民セクターよこはま)

■ お問い合わせ: 横浜市市民活動支援センター (担当: 関尾) 横浜市中区桜木町 1-1-56 クリーンセンタービル 5 階 ☎045-223-2666 (FAX: 045-223-2888) ✉daihyo@hamacen.jp



よこはま NPO 労務塾

【2019.2.20 (水) 10:00~16:00 (受付 9:30~)】

■ 会 場 : 帆船日本丸・横浜みなと博物館 訓練センター 第3教室

■ 対 象 : NPO 法人で人事労務を担当する方・理事など (定員 30 名)

■ 申込み : 専用フォームからお申し込みください

■ 受講料 : 2,000 円 (1 日も半日も同額となります)

■ 内容: はじめに労務の考え方や全体像を知り、さらに具体的な管理の仕方や必要な手続きを学んでいきます。 労務が初めての方、更に整備していきたい方、労務管理に必要なことがわかります!

● 午前の部/10:00~12:00 「労務管理の全体像」編 (120 分 ※10 分間の休憩を含む。)

● 午後の部/13:15~16:00 「労務管理のポイント」編 13:15~14:15 (60 分)

「こんな時どうする!? ケース検討」編 14:30~15:45 (75 分)

専門アドバイザー派遣の他、当センター事業のご紹介 15:45~16:00

■講師：平塚 綾子 氏 特定社会保険労務士

■ 主催：横浜市市民活動支援センター(管理運営:認定 NPO 法人市民セクターよこはま)

■ お問合せ：横浜市市民活動支援センター(担当：嶋田) 横浜市中区桜木町 1-1-56 クリーンセンタービル 5 階 ☎9742; 045-223-2666 (FAX: 045-223-2888) ☎9993; daihyo@hamacen.jp

●-----
NPO 法人ブラッシュアップセミナー NPO と 企業 との 協業に向けた準備のススメ
【2019.3.4 (月) 13:15~17:30 (受付 13:00~)】

■ 会 場：wework (みなとみらい線「みなとみらい駅」徒歩 2 分。)

■ 対 象：NPO 法人で事業を統括している立場の方(理事、事務局長等)

■ 申込み：専用フォームからお申込みください

■ 定 員：18 名

■ 受講料：3,000 円 ★終了後、ミニ懇親会を開催します(任意参加)

■内 容：テーマ別セッション

●セッション 1 企業から見た NPO の価値や魅力 堀口 賞一 氏、本田 竜也 氏

●セッション 2 NPO 法人から企業へのアプローチの実践 永岡 鉄平 氏

●セッション 3 協業における契約について 石橋 京士 氏

●全体フリートーク<コーディネーター> 吉原 明香 認定 NPO 法人市民セクターよこはま理事・事務局長

■ 主催：横浜市市民活動支援センター(管理運営:認定 NPO 法人市民セクターよこはま)

■ お問合せ：横浜市市民活動支援センター(担当：関尾) 横浜市中区桜木町 1-1-56 クリーンセンタービル 5 階 ☎9742; 045-223-2666 (FAX: 045-223-2888) ☎9993; daihyo@hamacen.jp

●-----
平成 30 年度 セルフヘルプ実践セミナー

セルフヘルプ・グループに学ぶ当事者のもつチカラ

日時：平成 31 年 3 月 1 日(金) 13 時~16 時 30 分

会場：フォーラム(男女共同参画センター横浜 ホール) 横浜市戸塚区上倉田町 435-1 戸塚駅より徒歩約 5 分

内容：

●はじめに

●当事者グループのリレートーク

どんな活動の中で、「当事者のもつチカラ」が発揮されているのでしょうか？お話を聴いてみましょう。

お話しするグループ

◇ギャマノンみなと横浜グループ：ギャンブルの問題に影響を受けた家族・友人の集まり

◇ママエスティーム：様々な悩み、不安を抱える育児中のお母さんと対象としたグループ

◇ばたふらい(Butterfly)：心の病（精神障害）を持つ方が、地域によりよく参加・交流・就労できるよう活動するグループ

◇(N)アレルギーを考える母の会：アレルギー本人・家族の会

●ミニ講義「セルフヘルプ・グループの持つチカラ」

講師：堀越由紀子氏(東海大学教授)・白井正樹氏(神奈川県立保健福祉大学教授)

対象：

●相談援助に関わる方

●行政関係者の方

●対人援助技術を学ぶ学生

●テーマに関心のある方

主催：社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会 共催：男女共同参画センター横浜

申し込み方法：

定員 100 名、締切は 2019 年 2 月 22 日（金）1 名前 2 所属(ある方のみ) 3 連絡先(電話、FAX、e-mail のいずれか)を、ファクシミリ、e-mail またはお電話にて事務局にお知らせください。

問い合わせ：神奈川県社会福祉協議会 地域福祉推進部 地域福祉推進担当（かながわボランティアセンター）TEL：045-312-4815 FAX：045-312-6307 E-mail：kvc●knsyk.jp（●を@に変更して送信してください）

●-----

マネジメントの基礎を学ぶ！『女性管理職』育成セミナー

日程：平成 31 年 2 月 23 日、3 月 2 日、9 日（各土曜、10 時から 16 時、全 3 回）

内容：3 回のプログラムを通して、管理職に求められる役割とスキル、業務や部下のマネジメントの基礎を実践的に学ぶセミナーを開催します。

1 日目 2 月 23 日（土曜） 管理者の役割とスキル ― 管理者に求められる役割、マネジメントとリーダーシップ、問題解決

2 日目 3 月 2 日（土曜） 業務のマネジメント ― 段取り力・タイムマネジメント、ロジカルコミュニケーション

3 日目 3 月 9 日（土曜） 部下のマネジメント ― チーム力向上、育成に繋がる「ほめ

かた・注意のしかた」、ハラスメントとメンタルヘルス

講師：鎌倉人材育成ラボ 代表 柳生 幸枝 氏

対象・定員：総就業年数 10 年以上で、管理職を目指す女性や、新任の女性管理職等 30 名程度（申込み多数の場合は抽選）

受講料：1,500 円

会場：かなテラス（神奈川県立かながわ男女共同参画センター）（藤沢市鵜沼石上 2-7-1）

託児：無料、1 歳から就学前児童、2 月 10 日（日曜）までに要予約（別途おやつ代 150 円／回）

申込み方法：平成 31 年 2 月 10 日（日曜）までに、電話または「受講申込みフォーム（e-kanagawa 電子申請サイト）」より、お申し込みください。

申込み・問合せ：かなテラス（神奈川県立かながわ男女共同参画センター）参画推進課
〒251-0025 藤沢市鵜沼石上 2-7-1 電話：0466-27-2117

主催：かなテラス（神奈川県立かながわ男女共同参画センター）、共催：横須賀市、藤沢市



全国ボランティアコーディネーター研究集会 2019

JVCC2019 京都

大会テーマ：ボランティアはコマじゃない

今こそレジリエンス（しなやかさしたたかさ）が試される！

日程：2019.3.2(土), 3.3(日)

会場：大谷大学（京都市北区）

参加費：一般 12,000 円、JVCA 正会員・準会員 10,000 円（WEB 早割は各々 1,000 円割引）

※別途交流会参加者 3,500 円（希望者のみ）

定 員：250 名 ※締切前に定員に達した場合は、その時点で締切とさせていただきます。

申込締切：2019 年 2 月 1 日（金）≪17:00 必着≫ WEB 早割は 1 月 25 日(金)締切

主催：全国ボランティアコーディネーター研究集会 2019 京都 実行委員会

認定特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会（JVCA）

共催：大谷大学

問い合わせ：全国ボランティアコーディネーター研究集会 2019 実行委員会事務局（NPO 法人ユースビジョン内）〒603-8142 京都府京都市北区小山北上総町 43-4 相井ビル 2 階
TEL.075-286-3400 FAX.075-320-3714 E メール vcc2019@youthvision.jp ウェブサイト
<https://jvcc2019.jimdofree.com>

●-----
東京ボランティア・市民活動センター

地域に根ざす中間支援組織スタッフのための支援力アップ塾ステップアップ編

東京ボランティア・市民活動センター

地域に根ざす中間支援組織スタッフのための支援力アップ塾ステップアップ編

「～思いをカタチにするまでのストーリー～市民×コーディネーターが語る！」の開催について

1 開催日程 平成 31 年 2 月 20 日（木）13：30～16：45

2 会 場 府中市市民活動センター プラッツ 6F 第 5 会議室

（東京都府中市宮町 1 丁目 100 ル・シーニュ/最寄は京王線府中駅）

3 内 容 「～思いをカタチにするまでのストーリー～市民×コーディネーターが語る！」

1 組目：傾聴いたばし 新井淑子さん × いたばし総合ボランティアセンター 秋山由佳子さん

傾聴講座修了後、その受講生たちが結成した”傾聴いたばし”は、今では自ら、傾聴講座を企画し運営しています。“傾聴いたばし”の新井淑子さんと、活動の立ち上げから支援する、いたばし総合ボランティアセンターの秋山由佳子さんにお話を伺います。

2 組目：NPO 法人ぬくぬくハウス 温井克子さん × 一般財団法人世田谷トラストまちづくり 山田翔太さん

自宅の一部を地域にひらいて活用し、誕生した多世代の集う居場所「ぬくぬくハウス」。
ぬくぬくハウスの運営者でありオーナーの温井克子さんと、開設前から支援する、世田谷トラストまちづくりの山田翔太さんにお話を伺います。

※詳細はサイトをご覧ください。<https://www.tvac.or.jp/special/im/stepup/>

不明点は下記問合せ先までお問合せください。

4 参加費 3,000 円

5 定 員 30 名

6 申込締切 平成 31 年 2 月 14 日（金）

※WEB サイト <https://www.tvac.or.jp/special/im/stepup/> 内の入力フォーム、または申込み用紙による FAX でお申し込みください。

7 共 催 府中市市民活動センター プラッツ

8 主催・問合せ先

東京ボランティア・市民活動センター （斉藤、相澤、熊谷、朝比奈）

TEL : 03-3235-1171 FAX : 03-3235-0050 E-mail : im@tvac.or.jp



日本フィランソロピー協会

CSR・社会貢献活動を「伝えるコツ」～参加意欲を高める訴求力強化ワークショップ～

第 353 回 定例セミナー

「CSR・社会貢献活動を「伝えるコツ」～参加意欲を高める訴求力強化ワークショップ～」

<https://www.philanthropy.or.jp/seminar/353/>

2 月のセミナーは自社の CSR や社会貢献活動を効果的に伝える「グッと来るキャッチコピー」

について考えます。株式会社電通が、社会貢献活動の一環として NPO のコミュニケーション

力の向上を目指し行なうセミナープログラム「伝えるコツ」。自社の社会貢献活動のアピール

力を強化し、共感を呼び、参加意欲を高め、活動を広げるにはどう伝えたらいいか。

同プログラムの紹介の後、企業の担当者向けにアレンジした講義とミニワークショップを実施いただきます。多くの方のご参加をお待ちしております。

■テーマ：

「CSR・社会貢献活動を「伝えるコツ」～参加意欲を高める訴求力強化ワークショップ～」

■ご登壇者：

伊藤 公一（いとう こういち）氏

株式会社電通九州 チーフクリエイティブオフィサー

金子 花菜（かねこ はな）氏

株式会社電通 総務局 社会貢献部 コミュニケーションデザイナー（「伝えるコツ」担当）

■日時： 2019 年 2 月 15 日（金） 15：30（開場） 16：00～18：00（セミナー）

※セミナー終了後、近隣にて、希望者による懇親会もあります。（実費）

■会場： 味の素株式会社 本社 B 棟 2 階 21 号会議室

（〒104-8315 東京都中央区京橋 1-15-1）

<交通アクセス>

交通アクセス： JR「東京駅」 八重洲中央口（徒歩 10 分）

地下鉄銀座線「京橋駅」 6 番出口（徒歩 5 分）

都営地下鉄「宝町駅」 A-8 出口（徒歩 1 分）

地下鉄日比谷線「八丁堀駅」 北口（徒歩 10 分）

■参加費：当協会会員 2,000 円／一般 5,000 円／学生 1,000 円

■支払方法：当日会場受付にてお支払ください。

※領収書は受付にてご用意しています。

※ご請求書発行、お振込入金ご希望の方は、申込フォームのメッセージ欄にその旨お書き添えください。

■申込方法・詳細：

下記リンク先の申込みフォームをご利用ください。

※お二人以上で参加の場合も、お一人ずつお申し込みください。

<https://www.philanthropy.or.jp/seminar/353/>

【お問い合わせ】

公益社団法人 日本フィランソロピー協会 落合（おちあい）

TEL：03-5205-7580 FAX：03-5205-7585

Email: ochiai@philanthropy.or.jp

●-----
ST スポット

☐ 『障害福祉と文化芸術の関わりを考える勉強会 “そこにいること”へのまなざし』

第4回 障害者と芸術鑑賞

日時：2019年2月20日(水)19時～20時30分

会場：STスポット

ゲスト：林建太(視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ 代表)

関淳一(横浜美術館)

美術館で作品を見るときに、楽しみ方はひとつでしょうか。

『視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ』では、視覚障害のある人もない人も、対話をしながらいっしょに鑑賞することでさまざまな視点で作品を味わう体験を生み出しています。視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ代表の林建太さんと、横浜美術館の関淳一さんといっしょに、障害のある人と美術館のあり方について考えを深めます。

■参加費■

各回 500 円

※4回連続のご参加をお勧めしますが、1回ごとのご参加も可能です。

■対象■

障害者との文化芸術活動に取り組んでいる、もしくは取り組みたいと考えている方。主に文化施設や芸術団体に関わる方を想定していますが、ご興味をお持ちの方はどなたでもご参加いただけます。

■定員■

各回 20 名（先着順、要事前申込）

■お申込み■

件名を「勉強会参加」として、以下の内容をこちらのメールアドレス (community@stspot.jp) までお送りください。

こちらからの返信をもってご予約完了となります。

- (1) お名前（ふりがな）
- (2) ご所属（あれば）
- (3) 参加ご希望の回
- (4) 当日連絡用の電話番号
- (5) メールアドレス
- (6) この勉強会に期待すること

※短くて構いませんので、ぜひお知らせください。
出来る限り内容にも反映させていきたいと思えます。

□地域における障害者の文化芸術体験活動支援事業報告会

日時 3月7日（木）19:00～20:30

場所 障害者スポーツ文化センター横浜ラポール大会議室

参加費 1,000 円

要申込

件名を「報告会参加」として、以下の内容をこちらのメールアドレス (community@stspot.jp) までお送りください。

こちらからの返信をもってご予約完了となります。

- (1) お名前（ふりがな）
- (2) ご所属（あれば）
- (3) 当日連絡用の電話番号
- (4) メールアドレス

● -----
パルシック スタディーツアー

スタディーツアー

フェアトレード 有機農業ボランティアツアー in スリランカ

参加者募集！／ スリランカ 南部 デニヤヤ

持続可能な紅茶づくりを支える フェアトレード 有機農業ボランティアツアー

インド洋に浮かぶ光り輝く島、スリランカ。南部のデニヤヤには、様々な熱帯植物が生え、色鮮やかな鳥たちが暮らします。

有機紅茶の茶畑は地域の水源地である森林保護区に隣接することから、農民たちが暮らしや環境を守るため、2011 年から有機栽培への転換に取り組んでいます。

このツアーでは、紅茶農家宅にホームステイし、農業のボランティアを通じて、フェアトレードの美味しい紅茶ができるまでをたっぷり学びます。

一緒に、持続可能な取り組みを応援しにいきませんか？

このツアーのポイント！

- ★ 紅茶農家宅にホームステイ 4 泊
- ★ フェアトレード紅茶ができるまでを知る
- ★ 地域で活動をしている NGO、紅茶関係者に話を聞く

開催概要

開催時期： 2019 年 3 月 16 日（土）～3 月 24 日（日） 9 日間

旅行代金： 223,000 円 （パルシック会員は 10,000 円割引）

（往復航空運賃〈成田-コロンボ〉、全行程宿泊費、食費、全行程移動費、入国税・空港税等含む。旅行代金は 2018 年 9 月 1 日現在の燃油等付加運賃を基準として算出しております。燃油料金が変更となった場合、追加料金をいただく場合がございます。）

申込締め切り：2019 年 2 月 14 日（木）

現地プログラム企画：特定非営利活動法人 パルシック

旅行企画・実施：株式会社 風の旅行社

受託販売：株式会社 ピースイン・ツアー

お申込み・お問い合わせ

ご不明点・ご質問は、お気軽にメール・電話・FAX にてご連絡ください。（担当：ロバーツ）

特定非営利活動法人 パルシック (PARCIC)

〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町 1-7-11 東洋ビル 1F

Tel : 03-3253-8990 Fax : 03-6206-8906

●----- 21 世紀かながわ円卓会議

「外国人政策と多文化社会の未来～かながわで共に生きていくために」
グローバル化に伴い地域の多文化化が進む中、神奈川県では在日コリアンに向けたヘイトスピーチに見られる排外主義の問題や、難民を含む外国人居住者との共生における課題など様々な問題が見られます。また 2018 年 12 月には外国人労働者の受け入れ拡大を目的に出入国管理法が改正されました。このような背景を踏まえ、今後さらに多文化共生社会を築き上げていくためには、異なる背景を持つ人同士の信頼関係を強化しながら、より良い社会を目指して多様な人と協働する「市民性 (シティズンシップ)」のありかたを考えることが重要ではないでしょうか――第 8 次 (2018・2019 年度) 21 世紀かながわ円卓会議では、こうした趣旨のもと研究会 (※1) を立ち上げ、神奈川県などの事例を通して研究者や実務家、ジャーナリストなどの円卓会議運営委員 (※2) の方々と一緒に議論を重ねてまいりました。

そして、今回のシンポジウムでは、出入国管理法改正の方向性に見られるこれまでの日本政府の外国人政策のあり方について俯瞰的に振り返り、その課題や今後予想される社会像について地域で長年活動してきた方々から話を聞くことで、みなさんとともに議論を深めていきたいと思います。

●テーマ

「外国人政策と多文化社会の未来～かながわで共に生きていくために」

●日時

2019 年 2 月 24 日 (日) 13:00～16:00

●会場

神奈川韓国会館 7 階多目的ホール

<http://www.mindan-kanagawa.com/about/access/>

JR 線・東急東横線・京浜急行線 横浜駅「きた西口」出口より徒歩 5 分

●報告

「改定入管法施行と多文化社会の今後」 鈴木江理子氏 (国土舘大学教授)

●事例紹介 (仮題)

・「外国人の社会参加について考える：川崎での取り組みから」

山田貴夫氏 (ヘイトスピーチを許さないかわさき市民ネットワーク事務局)

・「市民がつなぐ難民とホスト社会」

渡部清花氏（NPO 法人 WELgee 代表理事）

・「多文化共生教育の視座：マジョリティへの働きかけ」

山根俊彦氏（NPO 法人多文化共生教育ネットワークかながわ[ME-net]理事）

●定員

40 名（先着順）2019 年 2 月 15 日（金）申込み締切

●参加費

無料

●申し込み方法

必要事項をメールまたは FAX でお申し込みください。

【必要事項】

- ・氏名
- ・所属
- ・住所（市町村名までで結構です）
- ・電話・FAX
- ・メールアドレス
- ・このシンポジウムのことをどこでお知りになりましたか？

○メール：entaku@kifjp.org

○FAX：046(858)1210

●お問い合わせ

TEL：046-855-1821 かながわ国際交流財団（西山・清水）



第 17 回聞き書き甲子園

◆開催日時：2019 年 3 月 16 日（土）13：00 開場、13：20 開会

◆参加費：無料

◆会場：木材会館 7 階 檜ホール（東京都江東区新木場 1-18-8）

（最寄駅：りんかい線・JR 京葉線・東京メトロ有楽町線「新木場駅」より徒歩約 4 分）

◆定員：150 名 ※先着順で申し込みを受け付けます。

◆申込み締切：3 月 7 日（木）※定員に達しない場合は、当日のご来場も可能です。

◆申し込み方法： イベント情報サイト「Peatix」より、参加登録をお願い致します。

URL: <https://kikigaki17-forum.peatix.com>

（上記サイトをご利用になれない場合、件名に「フォーラム申込み」と記載し、

氏名、住所、電話、E メール、所属（高校・団体・企業名等）を明記の上、

FAX もしくは E メールで下記問い合わせ宛にお申込みください。お電話でもお受けいたし

ます。)

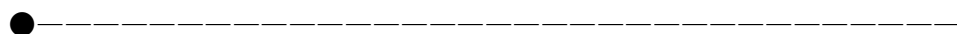
<問い合わせ先>

NPO 法人共存の森ネットワーク（聞き書き甲子園実行委員会事務局）

〒156-0043 東京都世田谷区松原 1 - 11 - 26 コスモリヴェール松原 301

TEL : 03-6432-6580 FAX : 03-6432-6590

E-mail : mori★kyouzon.org (★を@に変えてお送りください)



PINK SHIRT DAY 2019 in Kanagawa

ピンクシャツデー2019 in 神奈川

「いじめストップ！」ワールドアクション

「2018 年度ピンクシャツデー」はピンクシャツデー2018 神奈川推進委員会を中心に、多くの企業・団体・個人のご支援、ご協力を頂き、各種イベント・取り組みを実施する事ができました。イベント当日は黒岩県知事・林市長を始め多くの方々が賛同のメッセージを寄せてくださり、ピンクのアイテムを身につけてくださいました。みなとみらいの観覧車やマリインタワーもピンクにライトアップされる等、「いじめストップ！」の取り組みが大いに盛り上がり、その模様はNHK やテレビ神奈川のニュース番組、新聞各社に取り上げて頂きました。2019 年もピンクシャツデー月間である 2 月に様々なイベント、チャリティ活動が、様々な枠を超えて開催されます。未来を担う子ども達のためにもこの活動が広く認知され、「いじめが起きない社会」を共に創れるよう心から願っております。各種イベントへのご参加、ご協力をお待ちしております！

キャンペーンイベント

ピンクシャツデーイベント

日時

2019 年 2 月 24 日（日）11 時／14 時 2 回ステージ

場所

横浜西口駅前広場（高島屋正面入口前）

内容

ミニ朗読劇『ハッピーバースデー』

ライブパフォーマンス（横浜タカシマヤ ダンスユニット、東池袋 52、N.U.）

ファイナルイベント

日時

2019 年 2 月 27 日（水）13 時～18 時

場所

新都市プラザ（そごう横浜店地下 2 階正面入口前）

内容

N.U.ライブステージ

ミニ朗読劇『ハッピーバースデー』

ジェントルハートプロジェクトメッセージ

横浜市立領家中学校吹奏楽部演奏

パネル展示 その他



大竹財団 映画『沖縄スパイ戦史』上映会

映画『沖縄スパイ戦史』

戦後 70 年以上語られなかった陸軍中野学校の「秘密戦」
明らかになるのは過去の沖縄戦の全貌だけではない――。

第二次世界大戦末期、米軍が上陸し、民間人を含む 20 万人余りが死亡した沖縄戦。第 32 軍・牛島満司令官が降伏する 1945 年 6 月 23 日までが「表の戦争」なら、北部ではゲリラ戦やスパイ戦など「裏の戦争」が続いた。作戦に動員され、故郷の山に籠って米兵たちを翻弄したのは、まだ 10 代半ばの少年たち。彼らを「護郷隊」として組織し、「秘密戦」のスキルを仕込んだのが日本軍の特務機関、あの「陸軍中野学校」出身のエリート青年将校たちだった。

1944 年の晩夏、大本営が下した遊撃隊の編成命令を受け、42 名の「陸軍中野学校」出身者が沖縄に渡った。ある者は偽名を使い、学校の教員として離島に配置された。身分を隠し、沖縄の各地に潜伏していた彼らの真の狙いとは。そして彼らがもたらした惨劇とは……。

監督：三上智恵、大矢英代／プロデューサー：橋本佳子、木下繁貴／協力：琉球新報社、沖縄タイムス社／製作協力：沖縄記録映画製作を応援する会／製作：DOCUMENTARY JAPAN、東風、三上智恵、大矢英代／配給：東風／2018／114 分

参考『沖縄スパイ戦史』公式ホームページ

イベントの開催概要

日 時 2019 年 3 月 19 日(火) 19:00～21:00 (開場 18:30)
会 場 大竹財団会議室 (東京都中央区京橋 1-1-5 セントラルビル 11 階)
交 通 JR 東京駅八重洲中央口徒歩 4 分 (八重洲地下街 24 番出口すぐ)
東京メトロ京橋駅 7 出口徒歩 3 分
東京メトロ日本橋駅 B3 出口徒歩 4 分
参加費 一般＝500 円／ 学生、大竹財団会員＝無料
対 象 一般 (どなたでも参加可能です)
定 員 30 名 (要予約)
主 催 一般財団法人 大竹財団

●-----
非核市民宣言運動・ヨコスカ/ヨコスカ平和船団

学習会 「安保法制」後の横須賀 自衛隊はどこに向かうか
3 月 17 日 (日) 13:30～
会場：産業交流プラザ第 2 研修室
資料代 ¥500
(基調講演) 前田哲男 (軍事ジャーナリスト)
主催：非核市民宣言運動・ヨコスカ/ヨコスカ平和船団
連絡 TEL046-825-0157

●-----
みずら

みずらジェンダー学習会
日時 3 月 2 日 (土) 14:00～
場所 かながわ県民活動サポートセンター304
資料代 500 円
要申込 fax
みずら fax: 045-451-6769 tel: 045-451-3776
人権センター fax: 045-761-3389 tel: 045-271-1455

2019 年女性への暴力被害者支援みずらチャリティーバザー
バザー品募集中

バザー：5月18日(土)

みずら fax：045-451-6769 tel：045-451-3776

外国籍県民の住まいに関する研修会

今回のテーマは住まい。

普段すまいサポートセンターと強い連携を持つ不動産業者さんから賃貸住宅入居や継続的な居住についてお話をいただき、人々の自立を支える立場から。

日時 2月22日 18:00～

場所 県民サポートセンター305 会議室

対象者 外国人相談窓口関係者、通訳者、ボランティア等

講師 木村教義、ペイ・アン

【募集】

第31回 地域福祉を支援する「わかば基金」

第31回 地域福祉を支援する「わかば基金」

実施団体（社福）NHK 厚生文化事業団

関連 URL <https://www.npwo.or.jp/info/12995>

お問い合わせ先

NHK 厚生文化事業団「わかば基金」係

〒150-0041 東京都渋谷区神南 1-4-1

電話. 03-3476-5955

お問い合わせフォーム：<https://www.npwo.or.jp/contact>

募集時期

2019年2月1日～2019年3月29日

対象分野

保健・医療・福祉

対象事業

事業プロジェクト

内容／対象

「わかば基金」は、地域に根ざした福祉活動を展開しているグループが、活動の幅を広げるための支援をしています。

福祉にとって厳しい時代だからこそ、「わかば基金」は地域に芽吹いた活動をもっと応援していきます。

支援対象：

地域に根ざした福祉活動を行っているグループ

任意のボランティアグループまたは NPO 法人

支援金部門

- 国内のある一定の地域に福祉活動の拠点を設け、この支援金でより活動を広げたいというグループ
- 1 グループにつき、最高 100 万円
- 10 グループほどを予定



全日本社会貢献団体機構 特別助成

「全日本社会貢献団体機構」社会貢献活動支援のための特別助成について
助成の趣旨

● 特別助成

パチンコ・パチスロ依存問題の予防と解決に取り組む団体・研究機関に助成

パチンコ・パチスロ依存問題の予防と解決

依存問題を持つ人々を支援するセミナーなどの開催

依存問題からの回復を目指し、多様な社会参加を考える活動

依存問題を抱える人々の個別相談

依存問題で家族に不安を抱いている家庭への支援活動

その他依存問題の予防と解決に取り組む活動

助成対象団体助成の対象とする団体・研究機関は、以下に限ります。

民間の非営利組織であること(法人格の有無や種類を問いません)日本国内に事務所・連絡先があること。政治、宗教活動を目的とせず、また反社会的勢力とは一切関わりがないこと。

金融機関に申請団体名義の口座があること。

対象期間

原則として 2019 年 4 月～2020 年 3 月にパチンコ・パチスロ依存問題の予防と解決に取り組

む団体・研究機関に対して助成

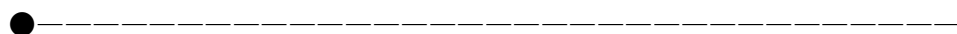
申請書送付先 問い合わせ先 ☎162-0844 東京都新宿区市谷八幡町 16 市ヶ谷見附ハイム
103

全日本社会貢献団体機構 事務局

TEL : 03-5227-1047 FAX : 03-5227-1049 E-Mail : josei-jigyo@ajosc.org

※ 問い合わせ受付時間…平日(月~金) 10:00~17:00

申請期間 2019 年 2 月 5 日(火)~2019 年 2 月 28 日(木)17:00 原本及びデータ必着



外国とつながりがあり保育士を目指す若者のための奨学金

◆外国とつながりがあり保育士を目指す若者のための奨学金（しょうがくきん）

「神遊協・神福協（かなゆうきょう・かなふくきょう）奨学金」の募集

■募集校（次の学校のどちらかで学ぶことになります）：

YMCA 健康福祉専門学校（厚木市）

横浜 YMCA スポーツ専門学校（横浜市戸塚区）

■募集人数：3 名程度

■入学時期：2019 年 4 月

■応募資格：

1. 高校を卒業した者、または 2019 年 3 月卒業見込みの者、またはそれと同等の資格を有する者。

2. 保育士をめざす者で、下記の条件を満たす者。

1) 外国籍の者で、次のいずれかの条件を満たすこと

ア.「永住者」、「日本人の配偶者等」、「永住者の配偶者等」、「定住者」の在留資格を有し、1 年以上継続して神奈川県に住所を有する者。

イ.「特別永住者」の在留資格を有し、1 年以上継続して神奈川県に住所を有する者。

※今後「永住者」「日本人の配偶者等」「永住者の配偶者等」「定住者」の在留資格を取得する見込みがある者も対象となる。

2) 日本国籍の者で本人・両親のどちらかが、元外国籍または外国出身であること
(申込書に国・地域名、その国・地域とのつながりについて明記すること)

3. 学費の負担が困難であること。

4. 2018 年 4 月 1 日現在、30 歳未満であること。

5. 学業終了後、神奈川県内の保育園等において、保育士として 3 年以上勤務する意志があ

ること。

6. その他

日本語以外に、コミュニケーションがとれる言語があることが望ましい。

※応募する前に、学校説明会・見学会などに参加することをおすすめします。早めにながわ国際交流財団または

各学校にお問い合わせください。

■出願期間： 2019 年 2 月 12 日（火）～3 月 6 日（水）

■試験日（面接）： 3 月 9 日（土）

■合格発表： 3 月 13 日（水）

■募集要項の入手方法など詳しくはこちらをご覧ください：

横浜 YMCA カレッジグループ（英語・中国語・ポルトガル語・スペイン語）

https://www.yokohamaymca.ac.jp/admission/scholarship_foreign/

■募集要項（出願書類・出願方法などが詳しく載っています）：

<https://www.yokohamaymca.ac.jp/wp-content/uploads/2018/08/b53398e7a45e7195d6b6874ac937d947.pdf>

■リーフレット（奨学生のインタビューが載っています）：

<https://www.yokohamaymca.ac.jp/wp-content/uploads/2018/08/851f2bebebd821282cdaf7ac4ab6ead4.pdf>

■問い合わせ先：

公益財団法人かながわ国際交流財団 tel:045-620-4466

YMCA 健康福祉専門学校 tel: 046-223-1441

横浜 YMCA スポーツ専門学校 tel:045-864-4990

とびラー募集

東京都美術館×東京藝術大学

「とびらプロジェクト」は東京都美術館と東京藝術大学が連携して行っているソーシャルデザインプロジェクトです。人と作品、人と人、人と場所をつなぎ、美術館に集まる多種多様な人々とのコミュニケーションを大切に、そこから創出される新しい価値を社会に届けることで、アートを介したコミュニティを育んでいきます。今年も活動の主体となるアート・コミュニケーター（とびラー）を 40 名募集します。東京都美術館と東京藝術大学と共に、あなたもアート・コミュニケーター（とびラー）として活動に参加してみませんか。「とびラー」の活動は、学芸員や大学の教員、そして第一線で活躍中の専門家を中心としたプロジェ

クトチームがしっかりとサポートしていきます。

応募条件：詳細は確認してください。

活動条件：詳細は確認してください。

活動場所：東京都美術館および、東京藝術大学など。

応募方法：詳細は確認してください。

講座内容

基礎講座

メール： q-tobira@tobira-project.info

問い合わせ： Tel: 03-3823-6921（東京都美術館 アート・コミュニケーション事業）



パブリックリソース財団

「あい基金」

「あい基金」は、女性が自らの意志で人生を選択できる社会をつくることを目指し、2015年に設立した基金です。

女性たちが中心となって、資金や資源を持ち寄ることで、地域社会をリードする女性を応援していく”日本初の女性のための草の根基金”です。

2016年より地域で活躍する女性を応援するため助成事業を行っております。

本年度も東日本大震災の被災地において、女性を中心となって取り組む、女性の生業づくりや地域づくりの活動を応援します。

募集要項等の詳細はこちらをご覧ください。

http://www.public.or.jp/ifund/news/dt_31.html

応募締め切りは「1月31日（必着）」です。



神奈川ゆめ社会福祉財団

奨学生募集

一般財団法人 神奈川ゆめ社会福祉財団

高校生を対象とする「第2期神奈川ゆめ奨学生」の募集。

高校生を対象とする「第2期神奈川ゆめ奨学生」の募集を開始いたしました。

神奈川ゆめ奨学金の募集要項は次のとおりです。

◆趣旨◆

神奈川ゆめ奨学金は、学ぶ意欲がありながら経済的理由により修学が困難な生徒に対して、奨学金を給付するとともに、社会の中で自分らしい生き方を実現できるための学びや体験の機会を、地域で活動している人、団体、行政などと広く連携・協同してつくり、応援することを目的とします。

◆特色◆

神奈川ゆめ奨学生の特色は次のとおりです。

- (1) 奨学金は給付とし、返済の義務はありません。
- (2) 困った時には気軽に相談できる「相談ダイヤル」があります。卒業後も相談できます。
- (3) さまざまな学びや体験の機会に参加できます（交通費等支給あり）。

◆応募資格◆

奨学生となるためには、次のすべての要件を満たす者でなくてはなりません。

- (1) 神奈川県内に在住している方。
- (2) 県内の高等学校(全日制課程、定時制課程)、中等教育学校※1の後期課程に次年度から進学する方。
- (3) 市町村民税所得割額が非課税世帯の方。
- (4) 当財団が企画するサポート活動等に参加する意思のある方。

◆応募書類について◆

- (1) 応募書類一式は、ホームページ(下記)からダウンロードできます。
- (2) 応募書類の郵送を希望される方は、申込みフォーム、お電話(0120-900-634)でお申し込みください。

◆採用予定人数◆

10名程度

◆奨学金の額及び期間と給付の方法◆

- (1) 奨学金の額
月額 10,000 円
- (2) 奨学金給付の期間
給付期間は最長で4年間。原級留置の場合も通算します。
毎年4月に在学証明書及び前年の世帯収入を証明する書類を提出することで継続します。
- (3) 卒業お祝い金
50,000 円

◆応募方法◆

「神奈川ゆめ奨学生申請書」に必要事項をご記入の上、期日までに必ず簡易書留にて事務局あてに郵送してください。

応募用紙の請求方法

- (1) 2019年3月31日までに「神奈川ゆめ奨学生申請書」と「提出書類」を一緒に、

簡易書留に

て下記の送付先にご提出ください。応募書類は、ホームページからダウンロードできます。

(2) お電話、Eメール(ホームページから)にて応募書類の受付も行っています。

応募書類の提出締切日

2019年3月31日(日)必着で、下記の送付先に簡易書留にてお送りください。

書類の送付先及びお問い合わせ先

一般財団法人 神奈川ゆめ社会福祉財団

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 3-18-16 新横浜交通ビル 2F

パルシステム神奈川ゆめコープ内

TEL: 0120-900-634 (月～金 10:00～17:00)

FAX: 045-470-4178

Eメール: yume@kanagawa-s.or.jp

●-----
※郵送でいただいた情報もらびつとにゆうずに掲載

させていただきますが、らびつとにゆうず掲載希望の情報は

できるだけメールで送っていただければ助かります。

らびつとにゆうず掲載希望情報送り先

office@alice-center.jp

よろしく願います

●-----
○アリスセンターは、市民と地域社会の自立を目指し、市民がまちづくりの主体となるための実践や政策提言を支援しています。市民活動の情報、NPOの政策提言づくり、NPOや企業、行政の協働などに取り組んでいます。

<http://alice-center.jp/wp/>

=====

◆◆発行◆◆

特定非営利活動法人 まちづくり情報センターかながわ(アリスセンター)

〒231-0001

横浜市中区新港 2-2-1 横浜ワールドポーターズ 6F NPO スクエア

TEL: 045-212-5835 (留守番電話です)

E-mail: office@alice-center.jp

発行人: 内海宏 担当: 菅原敏夫